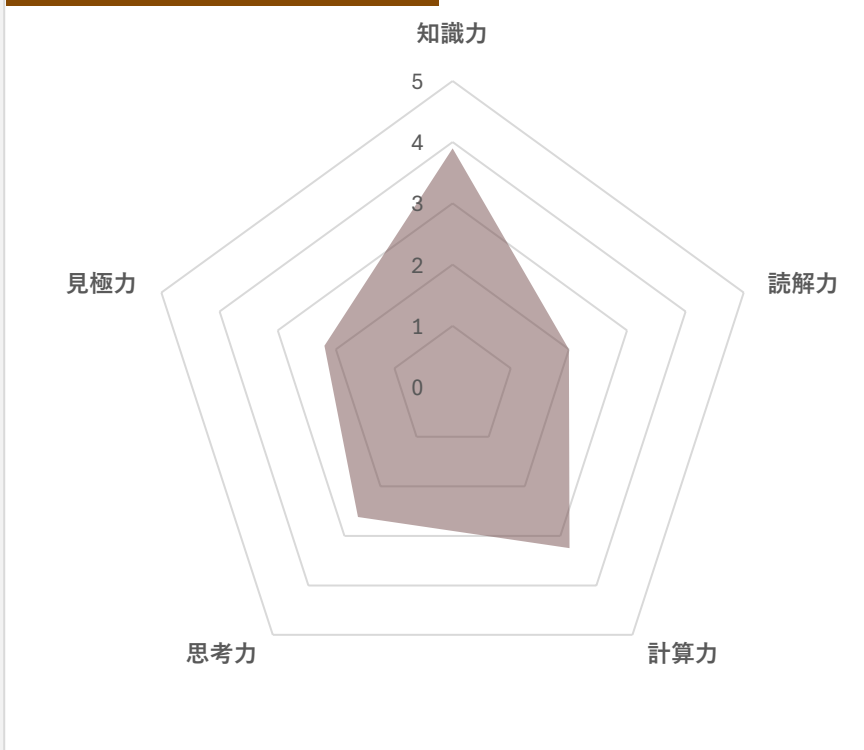


総合分析

試験区分	一般
------	----

制限時間	60分 (理科 2 科120分)	大問数	全 4 問
------	------------------	-----	-------

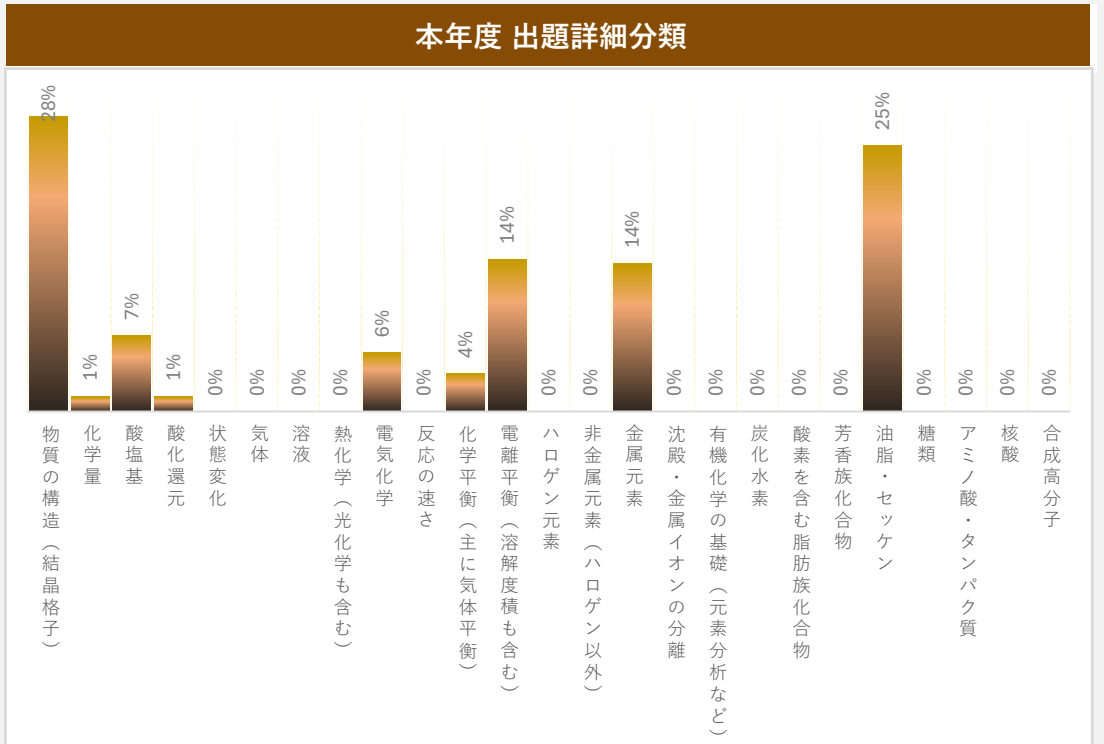
合格に要する能力 (5段階)



出題分野	
理論	61%
無機	14%
有機	25%

本年度 解答形式	
選択肢	100%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	結晶・結合
第 2 問	電離平衡・溶解度積
第 3 問	アルミニウム
第 4 問	油脂



合格に要する能力 (5段階)		
知識力	3.7	物質, 反応, 解法の知識
読解力	1.8	問題文から必要な情報を抽出できるか
計算力	3.1	手際よく正確に計算できるか
思考力	2.4	基礎知識や問題文から推測する力
見極力	2.0	解きやすい問題を選択する力

特殊問題の有無	数値計算あり	グラフなし	正誤問題あり	理由記述なし	図表なし
---------	--------	-------	--------	--------	------

特記事項	特になし
------	------

総合評価

難度	2.6	最難を 5 とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	71%
分量	60分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	標準	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策	強い特徴や偏りがないバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校化学の学習でよい。
入試から見る大学が求める学生像	受験生にとって答えづらい知識 (今年であればミョウバンの形の知識、ルビー・サファイアが強酸・強塩基に溶けづらいという知識など) も何問かあったが、そのような問題を除けば基本的には熟考するような問題はほぼない。基本的な知識及び少し盲点となる知識をそれぞれしっかり身につけているかどうか求められている。時間に関しても、知識が入っているかどうかでだいぶ変わる。